

理科カリキュラムを考える会 夏期セミナー(講演・研修会)のご案内

理科教育における 最新のコンピュータ・マルチメディアの活用法

8月9日(土) 13:00~17:00 8日10日(日) 9:00~16:00

コンピュータ・マルチメディアを活用し、かつ子どもの能動的な探究学習を実現する方法とは？
今もっとも優れたコンピュータ・マルチメディア教材とは？
理科カリキュラムにこれらをどう生かせるのかを探究するセミナーです。

主催：NPO 法人 理科カリキュラムを考える会 (理事長 滝川洋二) 共催：CIEC (コンピュータ利用教育協議会) 自然科学部会

後援：日本物理学会、日本物理教育学会 (申請中) 科学技術振興事業団、杉並区教育委員会

協賛：(株)小学館、(株)アスキーソリューションズ、島津理科器機(株)、中村理工工業(株)、ケニス(株)

特別講演 (8/9)

「授業効果を高めて従来型講義を改善する
演示実験やコンピュータ・マルチメディアの活用法」

Alexander P. Mazzolini 氏
アジア物理教育ネットワーク事務局長

AsPEN (アジア物理教育ネットワーク) は、ユネスコの基金を得ながら、新しい学習者中心の授業へのアプローチをアジア全域に紹介し、アジア各国の実情にうまく適合させた「能動的な学習法の各国版のバージョン」を生み出してきました。コンピュータによらない安価な演示実験や、コンピュータ・シミュレーション、CD-ROM による動画の活用など、いくつかの典型的な演示講義法の実例を本セミナーにおいてとりあげて講演を行います。

講演とワークショップ (8/9 および 8/10)

●「ビデオポイントを使った実験例、実技の指導と検討」小林昭三 (新潟大学教育学部教授)
ビデオに撮って運動などを解析するソフト、ビデオポイント (VideoPoint) を使った実験例、実技の指導と検討。(8/9)

⇒ワークショップ ノートパソコンを持参していただければ、実際にソフトを使ってワークショップに参加できます。システムの条件:Windows98 以上または MacOS(OS9 まで、OS-X のクラシック環境) であること、QuickTime がインストールされていること、CD-ROM ドライブがあること。物体の運動を撮影した動画CD を会場配布します。QuickTimeムービーファイルまたは AVI の動画ファイルであればお手持ちのデジタルカメラで撮影した運動を解析することもできます。

●「コンピュータ・マルチメディアを活用した探究学習」滝川洋二 (国際基督教大学高校) (8/10)

●「コンピュータとセンサーを使った授業報告」高橋和光 (江戸川区立小松川第二中学校)
データロガーの使用例・ビデオで授業風景を紹介 (8/10)

●「デジタルセンサー (イーゼーセンスとビデオポイント) を使った生徒実験」栗木久 (立命館高校) (8/10)

●「科学技術振興事業団によるデジタルコンテンツ『理科ネットワーク』の活用法」水上慶文 (神奈川県立厚木高等学校) (8/10)

●「インターネット上のコミュニティ作りを支援するための情報共有システム “NetCommons” とその具体例の E-教室の紹介」新井紀子 (国立情報学研究所) (8/10)

●その他、理科教育関連各社によるマルチメディア教育の展示、最新のデータロガーなどの器械、ソフトウェア、応用例などの出展

会場 杉並区大学生協会館 (地下鉄丸の内線東門寺駅から徒歩)
(東京都杉並区和田 3-30-22 Tel. 03-5307-1111)

参加費 3000 円 (学生および会員は 2500 円)

「理科教育における最新のコンピュータ・マルチメディアの活用法」参加申し込み

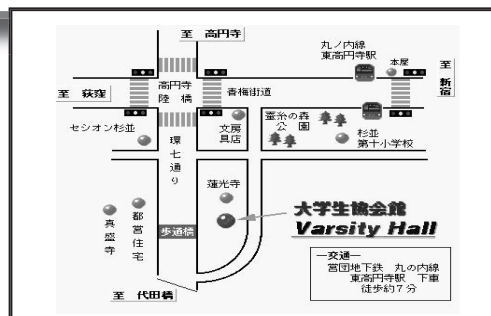
(ふりがな)
名前

所属

連絡先
住所

電子メール

電話番号



申込先

Mail: science-mltm@freeml.com

Fax 047-484-3713 (大木)

NPO 法人理科カリキュラムを考える会

理事長：滝川洋二 東京都小金井市梶野町 2-3-3

セミナー担当：大木勇人 h-ohki@ma.newweb.ne.jp

090-1802-2074